

第64回 臨床研究推進啓発セミナー  
2025年度第1回 臨床研究発展セミナー

2025年 **11月27日(水)** 18:00-19:00

対象：研究者、医師・歯科医師、看護師・薬剤師等のメディカルスタッフ、事務職員などの病院職員、学生（学外の方も参加できます）

結果のみに騙されるな！

システマティックレビュー/診療ガイドラインの落とし穴

-観察研究のメタ解析・ネットワークメタ解析の結果には注意せよ-



慶應義塾大学病院 臨床研究推進センター  
教育研修部門 特任助教

**安田 英人 先生**

システマティックレビュー/メタ解析(Systematic review: SR/Meta-analysis: MA)はエビデンスピラミッドの頂点に位置し、高いエビデンスレベルを有します。多くの医療従事者はSR/MAの結果を元に医療におけるさまざまな判断を下していることが多いと思います。また、そのシステマティックレビューを基本として作成される診療ガイドラインも多くの医療従事者のみならず、患者や医療政策に携わる人にも信頼性が高いものと理解されていると思います。しかし、それらのSR/MAや診療ガイドラインは本当に“疑いの目を持たずに”信じて良いのでしょうか。

ちょうど昨年に同様のテーマでGRADEアプローチを深く理解する重要性について説明しました。もちろんGRADEアプローチも大切ですが、その前にそもそもエビデンスの確実性の評価に用いる効果推定値の信頼性が担保されている必要があります。今回はその第二弾として、エビデンスの確実性に用いられる研究デザインとしてRCTのみならず観察研究そしてネットワークメタ解析について、その落とし穴について解説します。

**お申し込み ▶ <https://education.ctr.hosp.keio.ac.jp/>**



臨床研究教育研修 受講管理システムWebサイトより事前申込をお願いします。

お申込頂いた方には、別途、受講案内メールを送付致します。

当日は受講案内メールに記載された参加URLよりアクセスの上、受講して下さい。

